

# 国際色豊か新レディ



# 若鮎レディが新旧交代

## 外国人観光客へ情報発信

延岡観光協会

延岡市の魅力を市内外に発信して観光振興につなげようと、延岡観光協会が募集していた2019年度の「のべおか若鮎(あゆ)レディ」の3人が決まった。今年度は国際色豊かで、同協会が力を入れる訪日外国人観光客(インバウンド)向けの情報発信にも取り組む。前年度に務めたレディとの新旧交代式が2日、延岡市役所で行われた。

新レディはいずれも延岡市在住で、韓国籍で大学生のパクジョンさん(28)、兵庫県神戸市出身で主婦の大島桃子クレー(27)、福岡県小都市出身で大学生の黒岩結佳さん(20)。書類選考と面接を経て決定し、同日に同協会の谷平興二代代表理事から選任証の交付を受けた。交代式で前年度レディの橋本ゆり香さん(24)と日高諭子さん(25)らが、新レディの肩に歴代受け継がれているたすき

新のべおか若鮎レディの(左から)パクさん、大島さん、黒岩さん(2日、延岡市役所)

を掛け、「多くの人に魅力を伝え、より多くの人を呼び込んでもらいたい」などとエールを送った。パクさんは日本語、英語、韓国語が話せ、九州の魅力伝えようとユーチューブチャンネル開設。「外国人の延岡の魅力を発信し、自分も延岡の魅力を見つきたい」と意気込み。

昨年8月に移住した大島さんは父親がフィリピン人ということもあり、南国の雰囲気がある延岡にすぐには馴染みにならなかった。SNSや口コミを積極的に使って、積極的に活動していきたい」と張り切った。黒岩さんは大学1年から同協会アルバイトを続け、応募条件の20歳を迎えたことで念願のレディに就いた。「私は短期間のうちに延岡を好きになった。観光客のみならずも好きになってもらえたらいい。国際色豊かな3人で情報発信していきたい」と話した。新レディ3人は、今月12~14日まで市内で開催される延岡今山大師祭が初仕事になる。

のべおか若鮎レディは昭和63年度に「ミス観光のべおか」としてスタートし、平成10年に愛称を募集して改名した。各種行事への参加、観光宣伝隊の一員としての市外でのPR活動、各種メディアへの出演などを通じて、延岡の観光・物産の振興に尽くす。



伝えてほしい  
のべおかの宝

# 延岡はん

Vol.1 超一級の自然アウトドア 編

私たちの大好きなふるさと延岡には  
観光の宝物がたくさんあります。

## 延岡は超一級が3拍子そろったアウトドア天国



**川** 奇跡の清流  
水生生物生息国内トップクラス



**山** 九州最後の秘境  
祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録



**海** 黒潮育む神秘の海  
100種類を超えるサンゴ群

「延岡いちばん」シリーズは、4月3日(木)～5月8日(木)の毎週水曜日  
計6回にわたってご紹介いたします。

Vol.1 4月 3日(木)掲載  
「超一級の自然アウトドア」

Vol.2 4月10日(木)掲載  
「東北の産業遺産」

Vol.3 4月17日(木)掲載  
「百選の名城踏る城のまち」

Vol.4 4月24日(木)掲載  
「世界から注目される「食」の町を目指して」

Vol.5 5月 1日(木)掲載  
「宮崎県北は神武天皇のふるさと」

Vol.6 5月 8日(木)掲載  
「多彩な延岡」(一年を通じての祭りイベント)

4/3

### 市街地から30分で別世界

日豊海岸、祖母・傾という2つの国立公園に囲まれた延岡市は、九州ナンバーワン  
の海、山、川があり、アウトドア体験が盛んです。  
そして、市街地からそうした一級の体験フィールドに30分程度で行けるとい  
う全国屈指の環境こそが、「アウトドア天国のべおか」の最大の魅力です。



提供：一般社団法人 **延岡観光協会** 会員数403 H31.1.1現在  
〒882-0053 延岡市幸町2-125 (ココレッタ延岡 2F) ☎0982-29-2155

延岡観光協会HP <http://nobekan.jp>  
延岡観光協会HPで夕刊デイリー新聞の  
ふるさと情報が1年を通じて見られます

**hubs** NPO法人 ひむか感動体験ワールド 〒882-0813 延岡市東本小路131-5 (延岡市民協働まちづくりセンター内)  
☎0982-29-3835 <http://nobe-star.com/>

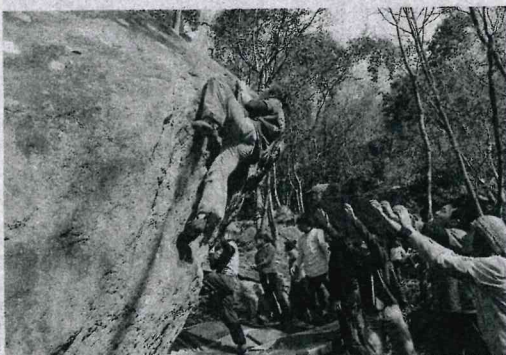
2019.4. W



# 延岡

伝えてほしい  
のへおかの宝

- 自然
  - 産業遺産
  - 城下町
  - 食
  - 神話・歴史
- 観光延岡の5本柱



比叡山の麓ではボルダリングが楽しめる



祝子川ではキャニオニングも楽しめる

多岐にわたる自然の宝を、延岡市は九州で一番目の面積を誇り、ほかの市町村に劣らぬ観光資源を持っている。観光都市としての底力に自信をもち、延岡観光協会(谷早興二会長)は「自然・産業遺産」城下町「食」神話・歴史の5本柱を掲げて強く打ち出す。その一方で、長年住み続けてきた自分たちの魅力を知りたい人も少なくない。地域民が改めて足元を魅力を確認し、自薦を勧誘して盛り上げて、協会のもう一つの大きな願い。市民一人ひとりが誇りに思える「観光のへおかの5本柱」を紹介する。

## TOWN



魚たちと身近に触れ合える体験ダイブ(提供写真)

豊かな自然と文化に恵まれた福岡北部。中でも延岡市は九州で一番目の面積を誇り、ほかの市町村に劣らぬ観光資源を持っている。観光都市としての底力に自信をもち、延岡観光協会(谷早興二会長)は「自然・産業遺産」城下町「食」神話・歴史の5本柱を掲げて強く打ち出す。その一方で、長年住み続けてきた自分たちの魅力を知りたい人も少なくない。地域民が改めて足元を魅力を確認し、自薦を勧誘して盛り上げて、協会のもう一つの大きな願い。市民一人ひとりが誇りに思える「観光のへおかの5本柱」を紹介する。



延岡市の観光大使

延岡市観光協会(谷早興二会長)は「自然・産業遺産」城下町「食」神話・歴史の5本柱を掲げて強く打ち出す。その一方で、長年住み続けてきた自分たちの魅力を知りたい人も少なくない。地域民が改めて足元を魅力を確認し、自薦を勧誘して盛り上げて、協会のもう一つの大きな願い。市民一人ひとりが誇りに思える「観光のへおかの5本柱」を紹介する。

# 海も山も川も一級品 屈指のアウトドア天国



延岡市周辺の海に生きているオウゴン(ハキキン) (提供写真)

延岡市は九州で一番目の面積を誇り、ほかの市町村に劣らぬ観光資源を持っている。観光都市としての底力に自信をもち、延岡観光協会(谷早興二会長)は「自然・産業遺産」城下町「食」神話・歴史の5本柱を掲げて強く打ち出す。その一方で、長年住み続けてきた自分たちの魅力を知りたい人も少なくない。地域民が改めて足元を魅力を確認し、自薦を勧誘して盛り上げて、協会のもう一つの大きな願い。市民一人ひとりが誇りに思える「観光のへおかの5本柱」を紹介する。